「令和6年能登半島地震」の地震活動

震央分布図

(2020年12月1日~2025年1月31日、 深さ0~30km、M≥3.0)

震源のプロット

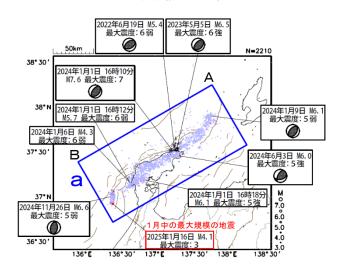
黒色 2020年12月1日~2023年12月31日

水色 2024年1月1日~12月31日

赤色 2025年1月1日~31日

吹き出しは最大震度 6 弱以上の地震、M6.0 以上の地震 及び1月中の最大規模の地震

図中の発震機構は CMT 解



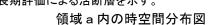
能登半島では 2020 年 12 月から地震活動が活発になっており、2023 年 5 月 5 日には M6.5 の地震(最大震度 6 強)が発生していた。2023 年 12 月までの活動域は、能登半島北東部の概ね 30km 四方の範囲であった。

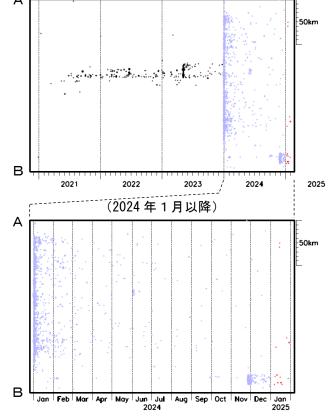
2024年1月1日16時10分に石川県能登地方の深さ16kmでM7.6の地震(最大震度7)が発生した後、地震活動はさらに活発になり、活動域は、能登半島及びその北東側の海域を中心とする北東一南西に延びる150km程度の範囲に広がっている。

地震の発生数は増減を繰り返しながら大局的に緩やかに減少してきているが、M7.6の地震後の地震活動域の西端の石川県西方沖で、2024年11月26日にM6.6の地震(最大震度5弱)が発生し、震度1以上を観測した地震が11月は136回、12月は37回、1月は12回(このうち、石川県西方沖のM6.6の地震活動域で、11月26日から30日は123回、12月は29回、1月は5回)発生するなど活発な状態が続いている。

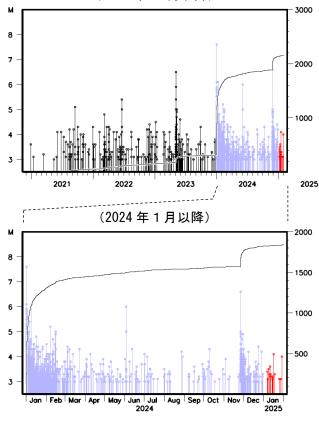
図中の茶色の線は、地震調査研究推進本部の 長期評価による活断層を示す。

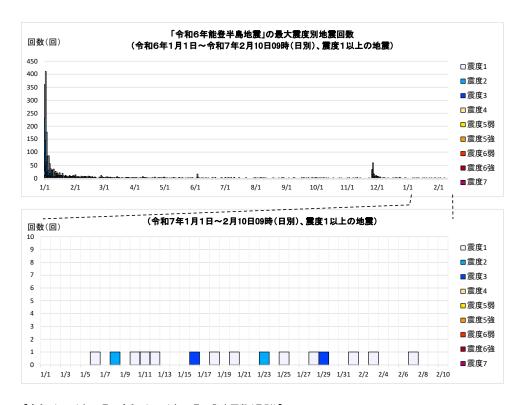
(A-B投影、2020年12月以降)



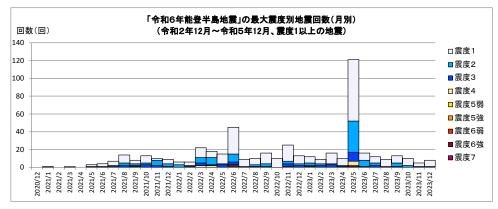


領域 a 内のM-T図及び回数積算図 (2020 年 12 月以降)





【令和2(2020)年12月~令和5(2023)年12月の発生回数(月別)】



【令和2(2020)年12月以降の発生回数(年別)】

年別	最大震度別回数									震度1以上を観 測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
2020/12/1 - 12/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2021/1/1 - 12/31	39	19	10	1	1	0	0	0	0	70	70	
2022/1/1 - 12/31	130	39	18	6	0	1	1	0	0	195	265	
2023/1/1 - 12/31	151	61	21	6	0	1	0	1	0	241	506	2023/6/1~ 12/31の震度1 上を観測した回数 合計73回 月平均10.4回 月中央値10.0回
総計(2020~2023)	320	119	49	13	1	2	1	1	0		506	
2020~2023	320	119	49	13	1	2	1	1	0	506	506	
2024/1/1 - 31	941	395	159	45	7	8	2	0	1	1558	2064	
2024/2/1 - 29	95	34	12	3	0	0	0	0	0	144	2208	
2024/3/1 - 31	49	17	4	0	0	0	0	0	0	70	2278	
2024/4/1 -30	32	9	4	0	0	0	0	0	0	45	2323	
2024/5/1 -31	20	6	2	0	0	0	0	0	0	28	2351	
2024/6/1 -30	27	5	1	1	0	1	0	0	0	35	2386	
2024/7/1-31	16	3	1	0	0	0	0	0	0	20	2406	
2024/8/1-31	13	4	1	0	0	0	0	0	0	18	2424	
2024/9/1-30	14	4	0	0	0	0	0	0	0	18	2442	
2024/10/1-31	8	6	0	0	0	0	0	0	0	14	2456	
2024/11/1-30	88	41	5	1	1	0	0	0	0	136	2592	
2024/12/1-31	24	12	1	0	0	0	0	0	0	37	2629	
2025/1/1-31	8	2	2	0	0	0	0	0	0	12	2641	
2025/2/1-10	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3		09時時点
総計(2020/12/1~2025/2/10)	1658	657	241	63	9	11	3	1	1		2644	

※2024/1/1以降は地震活動の領域が広がったことから、対象領域を拡大して地震回数をカウントしている。